

大会日程 第 2 日目 11 月 23 日 (日) 09:00-17:10

◆受付開始 08:30- 四天王寺大学 藤井寺駅前キャンパス 4 階
 ◆研究発表 A 会場 = 5 階 501 教室、B 会場 = 5 階 504 教室

◆研究発表 1 09:00-10:30

	1-A 501 教室 司会: 茂手木潔子	1-B 504 教室 司会: 塚原康子
09:00	前島美保 → 12 頁 江戸中期上方歌舞伎の音楽演出——『歌舞伎台帳集成』を手がかりに	山村磨喜子 → 15 頁 日本におけるフラメンコの受容——ギタリスト勝田保世の活動を中心に
09:30	佐藤岳晶 → 13 頁 近世邦楽の伝承から再考する「声の文化 (オラリティー)」——長唄三味線の伝統的教授法を事例研究として	上野正章 → 16 頁 大正期の通信教育教材でヴァイオリンを独習する試みについて
10:00	蒲生郷昭 → 14 頁 いわゆる『大薩摩杵屋系譜』について	寺内直子 → 17 頁 名古屋における雅楽伝承の一断面——幕末から明治へ

10:30-10:45 休憩

◆研究発表 2 10:45-12:15

	2-A 501 教室	2-B 504 教室 司会: 植村幸生
10:45	[パネルディスカッション] 日本音楽の伝承と発展のために → 18 頁 大塚拜子 (代表)、山本宏子、望月太左衛、時田アリソン	神野知恵 → 19 頁 近現代における韓国農楽の公演芸術化——女性農楽団の事例を中心に
11:15		山本華子 → 20 頁 韓国国立国楽院の伝統音楽普及と音楽教育の試みについて
11:45		鳥谷部輝彦 → 21 頁 江戸期舶来漢籍における七絃琴書について

12:15-13:15 昼食休憩 4 階 402 教室をご利用ください
 ※書籍販売、喫茶コーナーは 4 階にあります

◆研究発表 3 13:15-15:15

	3-A 501 教室	3-B 504 教室 司会: 福岡正大
13:15	[パネルディスカッション] 近世前中期の儒学と楽思想 → 22 頁 武内恵美子 (代表)、榎木亨、遠藤徹、山寺美紀子	武田歩 → 23 頁 トルコのクルド人における哀歌 (Ağut) 伝統の変容——私的な追悼から集合的記憶のインデックスへ
13:45		飯野りさ → 24 頁 イラクのシリア語系キリスト教徒共同体の音文化——アッシリア人アイデンティティの形成と世俗音楽
14:15		ウメトバエワ・カリマン → 25 頁 新疆ウイグル自治区におけるクルグズ族の音楽と楽器の研究——コムズを中心に
14:45		野澤暁子 → 26 頁 インドネシア・バリ島の古楽「スロンディン」の楽器編成に関する考察

15:15-15:30 休憩

◆研究発表 4 15:30-17:00

	4-A 501 教室 司会: 永原恵三	4-B 504 教室 司会: 久万田晋
15:30	仲辻真帆 → 27 頁 戦前・戦中期における柏木俊夫の音楽活動——日記および自筆譜の検証をもとに	サベジ・パトリック → 30 頁 音楽の文化的「進化」——「江差追分」の系統的分析
16:00	望月愛 → 28 頁 記録映画『或る保姆の記録』における音について	マツト・ギラン → 31 頁 組踊の「声」の概念——唱えと言語・ジェンダー・階級について
16:30	三島わか → 29 頁 地域の音楽文化の発信をめぐって——熊本中央放送局の放送プログラムを対象に	

17:00 閉会の辞 大会実行委員長 南谷美保 501 教室

17:30 臨時理事会 4 階 401 教室